

河内長野市立三日市小学校 6年生

全国学力・学習状況調査の概要

国語

設問番号	学校の平均正答率
1一	61.9
1二	25.7
1三(1)ア	58.1
1三(1)ウ	83.8
1三(2)イ	94.3
1四	78.1
2一	93.3
2二	74.3
2三	60.0
2四	56.2
3一(1)	76.2
3一(2)	80.0
3二	84.8
3三	61.9

概要

物語文の問題はなく、記録レポートやパンフレット、インタビューの文を基に考える問題であった。文章量が多く、条件にそって作文をする問題が2問あった。解答時間が足りないと回答した児童は26%であった。

特に成果が見られた問題例

漢字の問題が良くできていた。

2つの資料の共通する点を考えることができていた。自分の意見を話の意図や目的に応じて表現することができていた。縦割りや委員会活動を通じて、他者の意見を多く取り入れ、自分の意見も持っている児童が多くなっていると考えられる。

特に課題が見られた問題例

資料を検討し、条件にそって記述する問題に課題がある。知識を問う問題での無回答率が目立った。空白を作らず粘り強く解くということを普段から積み重ねる必要がある。

無回答率がどの問題に対しても高かった。選択問題も記入していない児童がいる。

算数

設問番号	学校の平均正答率
1(1)	92.4
1(2)	86.7
1(3)	56.2
1(4)	87.3
2(1)	75.2
2(2)	87.6
2(3)	38.1
2(4)	32.4
3(1)	76.2
3(2)	67.6
3(3)	78.1
3(4)	54.3
4(1)	42.9
4(2)	78.1
4(3)	61.0
4(4)	66.7

概要

基礎的な計算から比例問題、図形の意味や性質について考える問題など、バランスよく出題されていた。「数と計算」「図形」「データの活用」がよくできていた。また、「記述式問題形式」の正答率も高かった。問題に対して一生懸命に答えようとする態度や粘り強さを感じる反面、無回答率が高かった。

特に成果が見られた問題例

図形に関する問題は全体的によくできていたが、特に台形の意味や性質について問われている問題が良くできていた。また、図形を多角的にとらえることができていたことが結果からわかった。

特に課題が見られた問題例

割合に関する問題に課題が見られた。100に対する30は答えられても10に対する3を答えられていない児童が多数いた。また、図形の性質などはしっかりと理解できているが、正しい答えを選べていても理由まで書けない児童の割合が高く、書いてある問題や図、条件まで読解した上で答えられるような練習が必要である。

理科

評価の観点別	学校の平均正答率
知識・技能	79.4
思考・判断・表現	72.7

概要

「エネルギー」と「地球」に関する基礎的な問題がバランスよく出題されていた。他教科と同様に知識だけでなく、それらを多面的・多角的に見て判断する問題が出題された。

特に成果が見られた問題例

空気と体積の関係を問う問題であり、閉じ込められた空気が押されることで体積がどのような変化をするか、よく理解できていることが分かる。

月の観察について問う問題であり、観察カードのまとめかたがポイントとなってくる。日ごろから実験を行う際に、観察カードをまとめる際のポイントとして、何について書けばよいかという点をおさえていることが分かる。

また、2枚の観察カードを見比べることと、みさきさんの言葉をつなげて考えることができていた。

雨が降るときの雲の様子について、正しい知識が身についている。普段の生活の中でもよく目にする経験が繋がっていると考えられる。

特に課題が見られた問題例

直列つなぎと並列つなぎのときの電球の明るさについての基礎的な知識が定着していないと考えられる。

資料から天気の変化を読み取る問題に課題が見られた。自分の考えを、理由を含めて記述する必要があるが、方角（東西南北）が定着していないことや、天気の移り変わる仕組みが理解できていないことが、結果より分かった。

観点別	学校の平均正答率
A 図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、正しくとらえる。	90.6
B 図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、それをもとに論理的に考える。	70.5
C 図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、それをもとに新たな課題を考える。	87.7
D 図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、それをもとに自分の考えをまとめ、伝える。	77.5
E 興味関心のある事からについて、意欲的に工夫して相手に伝える。	95.5

概要

複数の資料を読み取り、条件にそって回答する問題がバランスよく出題された。記述式の問題でも無回答率が低く、本校の6年生は自分の考えを伝えようとするに意欲を持っていると考えられる。文章読解の力が問われるだけでなく、論理的に考えたり、考えたことを表現するなど、複合的な力が問われる問題であった。

特に成果が見られた問題例

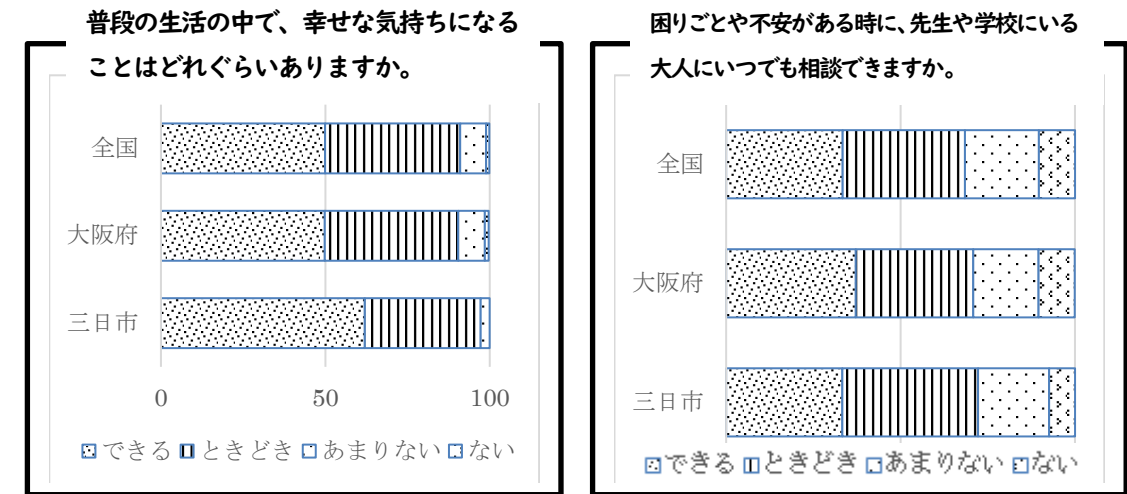
新しく学習内容に入ってきているプログラミングの設問は、すべての問題において無回答がなかった。また、記述式の問題は、例や条件を読んで自分なりの意見を持って書くことができ、書くことへの抵抗感が少なかったのではないかと考えられる。

特に課題が見られた問題例

資料をもとに、問題を解決するためにどのようなロボットが作りたいかについて書く問題に課題がみられた。自分で考えた機能を持ったロボットについて書くことができていた児童は多くいたが、「資料の中からどのような問題があるかについて書く」という条件を満たしていない児童が半数以上いた。その資料の特徴や推移、変化などを捉え、資料を読んだ上で、条件に沿って表現する練習が必要なことがわかった。

全国学力・学習状況調査及びすくすくテスト アンケートの概要

児童アンケート



概要

授業態度や家でのサポートに関する肯定的な回答が多く、落ち着いていることが伺える。

特に成果が見られたアンケート項目例

- ・ 先生は授業やテストで間違えたところや理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか。」
- ・ 友だち関係に満足している。
- ・ 幸せな気持ちになる
- ・ 学級の友だちとの間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている。
- ・ 授業で学んだことを他の学習で活かしている。
- ・ 道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる。
- ・ 朝食を毎日食べている。毎日同じぐらいの時刻に就寝、起床している
- ・ 家で自分で計画を立てて勉強をする。
- ・ 人の役に立つ人間になりたいと思う。

課題が見られたアンケート項目例

- ・ 英語が好きですか。 ・ 自分には良いところがあると思う。
- ・ 先生はあなたのよいところを認めてくれている。 ・ 将来の夢や目標を持っている。
- ・ 困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる。

結果を受けてこれからの取り組みについては、別紙「新しい三小教育を目指して」をご覧ください。